

科目名 Course Name	倫理学 Ethics						
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡先(質問等)	オフィスアワーは担当時間外						
必修/選択	選択						
関連 DP							
授業の概要と到達目標	哲学、東洋思想を中心に古典から近代までをディスカッション形式にて実施する。 ① 本授業を通して、自分の考えを自身の言葉で述べるができるようにする。 ② 東洋思想について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。 ③ 東洋哲学を学ぶことによって、従来とは異なる生き方、価値観を学習できるようにする。 ④ 哲学という正解の存在しない問題に対する解決能力を養うことができるようにする。						
授業の方法	パワーポイントを用いたディスカッション形式にて授業を行う。 補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。哲学と絡めた歴史の講義も並行して行う。 第 13～15 回授業では、生徒諸君にテーマを策定してプレゼンテーションを実施してもらう。						
学習成果	L01	社会人、職業人において必要とされる、思考力、問題解決能力を養うことができる。 プレゼンテーションを通して、自らの思想、哲学を述べるができる。					
	L02	哲学的思考を学ぶことで、多面的な視点、思考を身に着けることができる。 自分の考えを、自らの言葉で、明瞭に述べるができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業毎に実施しているレポートについて。授業について質問があった際は文書にて各自フィードバックする。						
教科書/参考図書							
履修上の留意点やルール等	① 積極的に質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。 ② 遅刻は原則認めない(やむを得なかった場合は学生支援課を通じて連絡すること) ③ 外国人生徒へ。本授業はより高い日本語技能が必要である。 (To foreign students. This class requires higher japanese language skill) ④ 定員は 20 名。 ⑤ 前期「哲学」を履修しておくことを推奨する。 ⑥ 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に参加する積極的な態度、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点とする。		30		
レポート/作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもらう。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		30		
発表	プレゼンテーションを各自実施してもらう。発表した内容について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。	40			
小テスト					
試験					
その他					

合 計				
-----	--	--	--	--

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等についての説明)、講義内容についての事前案内
	事前・事後学習	本授業を通して自分が何を学びたいか、事前に設定しておくこと。
2	授業内容	インド哲学① 『ヴェーダ』の成立とウパニシャッド、ブラフマンとアートマン
	事前・事後学習	仏教について、その概念を予習しておくこと。
3	授業内容	インド哲学② 釈迦の生涯とその哲学、四諦八正道
	事前・事後学習	四法印(一切皆苦、諸行無常、諸法無我、涅槃寂靜)について復習しておくこと。
4	授業内容	インド哲学③ 龍樹と空の思想、般若心経、インド仏教の衰退
	事前・事後学習	空思想について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
5	授業内容	西洋哲学① 犬のディオゲネスと犬儒学派、東洋との近似性
	事前・事後学習	犬儒学派と東洋の近似性がどこにあったのか、自分なりの解釈を出しておくこと。
6	授業内容	中国哲学① 春秋戦国時代と諸子百家、孔子と五行、墨子と兼愛
	事前・事後学習	性善説と性悪説について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
7	授業内容	中国哲学② 孟子と性善説、韓非子と性悪説、徳治と法治
	事前・事後学習	性善説と性悪説について、その長所と短所を導き出しておくこと。
8	授業内容	中国哲学③ 老子と荘子、道家と無為自然、『胡蝶の夢』と実在
	事前・事後学習	道家思想について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
9	授業内容	中国哲学④ 唐太宗と貞観の治、『貞観政要』における君主論
	事前・事後学習	空海の生涯について、予習をしておくこと。
10	授業内容	日本哲学① 日本における仏教伝来、空海と密教思想
	事前・事後学習	親鸞の生涯について、予習をしておくこと。
11	授業内容	日本哲学② 鎌倉時代と末法思想、親鸞と悪人正機、プレゼンテーション案内
	事前・事後学習	悪人正機について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
12	授業内容	日本哲学③ 禅の思想、栄西と公案、非論理と悟り
	事前・事後学習	プレゼン発表者は準備をしておくこと。
13	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は準備をしておくこと。
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は準備をしておくこと。
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション③
	事前・事後学習	これまでの授業内容について振り返りを行うこと。